

| | |
|-------------|--------------------------------|
| Syllabus Id | Syl.-082489 |
| Subject Id | Sub-082007000 |
| 更新履歴 | 20080321新規 |
| 授業科目名 | 英語(選択:英語β) English (English β) |
| 担当教員名 | 塩谷三徳 (Shioya Mitsunori) |
| 対象クラス | 全学科5年生 |
| 単位数 | 2履修単位 |
| 必修/選択 | 選択 |
| 開講時期 | 通年 |
| 授業区分 | 語学 |
| 授業形態 | 講義と演習 |
| 実施場所 | 共通棟3F MM教室 |

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

英語が国際的な意思伝達に必須の言語媒体となっている現状をふまえ、本講義では、高校卒業程度の英語を土台にして、英語ニュースを通じて、様々な分野に関する時事英語を学んでいく。実際に放送された英語ニュースを教材として使用することで、4技能の中でも、特にリーディングとリスニングを重視した実践的なコミュニケーション能力の育成を目的とする活動を多く取り入れ、同時にスピーキングやライティングによって情報を発信することができる能力の基礎を築く。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

高校卒業程度の英語の学力(英検2級程度)

| 学習・教育目標 | Weight | 目標 | 説明 |
|--------------------------------|--------|---------------------------------------|---------------------|
| | | A | 工学倫理の自覚と多面的考察力の養成 |
| | | B | 社会要請に応えられる工学基礎学力の養成 |
| | | C | 工学専門知識の創造的活用能力の養成 |
| | ◎ | D | 国際的な受信・発信能力の養成 |
| | E | 産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成 | |
| D.英語を使用した実践的なコミュニケーション能力を育成する。 | | | |

学習・教育目標の達成度検査

- 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
- プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
- 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

- 英語ニュースを読み、内容を理解し、日本語で大意を書けるようになる。
- 英語ニュースを聞くときに、簡潔にメモを取り、内容の把握ができるようになる。
- TOEIC500点程度の実力を身につけることを目的とする。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

| 回 | メインテーマ | サブテーマ | 参観 |
|------|-------------|---------------------|----|
| 第1回 | 前期オリエンテーション | | |
| 第2回 | Unit 1 | "Hashi" of Your Own | |
| 第3回 | Unit 2 | Things for Free | |
| 第4回 | Unit 2 | | |
| 第5回 | Unit 3 | Baby Post | |
| 第6回 | Unit 3 | | |
| 第7回 | Unit 4 | Phone "Book" | |
| 第8回 | 前期中間試験 | | × |
| 第9回 | Unit 5 | Metabolic Syndrome | |
| 第10回 | Unit 5 | | |
| 第11回 | Unit 6 | Citizen Judges | |
| 第12回 | Unit 6 | | |
| 第13回 | Unit 7 | Eyes on Tokyo | |
| 第14回 | Unit 7 | | |
| 第15回 | 前期期末試験 | | × |

| | | | |
|------|-------------|----------------------------|---|
| 第16回 | 後期オリエンテーション | | |
| 第17回 | Unit 8 | World Heritage Site | |
| 第18回 | Unit 9 | Pollen Nation | |
| 第19回 | Unit 9 | | |
| 第20回 | Unit 10 | Ninety-year-old Champion | |
| 第21回 | Unit 10 | | |
| 第22回 | Unit 11 | Saving Caps Saves Lives | |
| 第23回 | 後期中間試験 | | × |
| 第24回 | Unit 12 | Branding Japan | |
| 第25回 | Unit 12 | | |
| 第26回 | Unit 13 | Nation Tested | |
| 第27回 | Unit 13 | | |
| 第28回 | Unit 14 | Japanese Doctor in Myanmar | |
| 第29回 | Unit 14 | | |
| 第30回 | 後期末試験 | | × |

課題

課題として各Unitの予習または英語ニュース原稿を出題する。

提出期限: 課題出題時に期日を指定

提出場所: MM教室

オフィスアワー: 授業実施日の12:30~13:00

評価方法と基準

評価方法:

定期テストは教科書および教科書と同程度の英語ニュースからの出題とする。それとは別に、単語や文法、音読、聴解および読解を中心とした小テストを各回の授業時に実施する。小テストの点数は定期試験と同等に評価に加える。自主的な授業中の挙手による発言や事前の予習を奨励し、評価の一部とする。

評価基準:

定期試験および随時実施する小テスト等の成績による評価・・・75~80%

積極的参加態度、提出物の内容による評価・・・15~20%

学習到達度自己評価・・・若干

| | |
|-------------|--|
| 教科書等 | 『What's on Japan 3 - NHK BS English News Stories』Stella M. Yamazaki他 (金星堂) 2,310円 『データベース4500完成英単語・熟語』(桐原書店) 935円【2年時購入済み】 『即戦ゼミ3 英語頻出問題総演習』(桐原書店) 1,344円【2年時購入済み】 |
| 先修科目 | 総合英語A、総合英語B、英語W、英語C |
| 関連サイトのURL | ALC NetAcademy2 https://nct-na.numazu-ct.ac.jp/anet2/ |
| 授業アンケートへの対応 | 視聴覚機器を適切に活用することができるように心掛ける。 |
| 備考 | 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。 |